

施策カールテ

1 施策の位置付け

担当課	水道建設課
-----	-------

総合計画 政策の柱	市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	上下水道サービスの質を高める	取組の 基本方向	「上下水道サービスの質を高める」ため、水道水の品質を高め、安定的な給水を確保するための「水道水の安心給水の推進」、快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図るための「下水の適正処理の推進」、環境負荷の低減を図るための「上下水道施設・資源による環境保全の推進」、顧客満足度の向上や経営基盤の強化を図るための「顧客重視経営の推進」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	水道水の高品質化や安定給水、生活排水の適正処理などにより、市民の上下水道サービスへの満足度が向上しています。
--------------	------------------	----------------	----------------	-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------	--------------------------------------------------------

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	水道水の安心給水の推進						達成率 (%)
	H19:基準						
施策目標	高品質な水が安定して給水され、市民が安心して水道水を利用しています。						24.4%
施策を取巻く環境	健康志向など顧客ニーズが高度化していることから、高品質な水道水の供給が求められている。また、近年の大規模地震の発生などにより、危機管理意識が高まる中、ライフラインとしての水道についても、災害や事故発生時の対応力の向上が求められている。						
市民の 施策満足度	62.4%	達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	現状 課題 抽出
市民の 施策重要度	85.7%	必要性 (住民・社会ニーズ)	増加している	横ばい	減少している	説明	
		効率性 (事務事業の進捗)	十分である	不十分な事業が 一部ある	不十分な事業が 複数ある	説明	
		有効性 (政策目標への効果)	十分である	やや不十分である	不十分である	説明	

3 今後の取組方針

取組の 考え方	市民意識調査の施策満足度が1位であり、今後もこれが維持できるよう一部目標を達成していない事業については活動の強化を図ると共に、目標を達成している事業についても今まで以上に市民が安心して水道水が利用できるような事業の継続推進に努める。	政策評価 会議意見	現在の普及率は98%とほぼ全ての市民に水道水が供給されている状態にあり、また、事業は計画通り進捗しており、引き続き事業を継続して推進していくことが重要である。今後も高品質で安全な水を供給するために、新しい技術を取り入れながら、水質管理を行っていくとともに、施設等の耐震化や老朽配水管の布設替を行い、災害や事故に強い水道の整備に計画的に取り組んでいくこと。また、持続可能な安定給水のため、施設等の適正な維持管理を推進すること。さらに、新たな危機へ適切に対応できるように、危機管理体制の強化を図ること。
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業費 (千円)	事業費 (千円)	優先度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値					
1	老朽配水管布設替 担当課 水道建設課	水道利用者	H20	老朽配水管の配水管布設延長(m)	4,200	6,092	306,789	425,054	A	継続	老朽化した配水管の機能や役割を継続的に維持していくため、「老朽配水管布設替計画」に基づき、配水管の布設替を実施していく。
					5,176	6,596					
2	漏水調査 担当課 配水管理センター	水道利用者	S48	漏水調査延長(km)	1,000	1,000	36,320	44,195	A	継続	有収率向上のため、水道施設情報管理システムに蓄積される漏水履歴情報を分析し、適正な漏水調査方法や調査距離を精査するなど、効率的に実施できるよう工夫しながら事業を継続する。
					1,000	1,000					
3	松田新田浄水場施設整備事業 担当課 水道建設課	水道利用者	H20	ろ過池改造個数(池)	1	2	676,164	320,176	A	継続	平成24年度までに整備事業を完了させ、施設の効率的な運用を図ると共に、安全でおいしい水の安定給水に努める。
					1	2					
4	白沢浄水場施設整備事業 担当課 水道建設課	水道利用者	H20	場内施設整備件数(件) (施設整備すべき発注件数)	6	3	494,073	849,938	A	継続	平成22年度までに整備事業を完了させ、施設の効率的な運用を図ると共に、安全でおいしい水の安定給水に努める。
					6	3					
5	防災対策 担当課 企業総務課	水道利用者・被災した 市民	S56	防災用飲料水ポリ袋の購入枚数 (枚)	500	1,300	199	250	A	継続	地域防災計画に基づく応急給水訓練を実施し、さらに応急給水技術の向上に努める。今後、非常用飲料水ポリ袋については応急給水訓練時や災害時の使用分を補充するなどして、目標の枚数を確保していく。
					800	1,000					
6	応急給水拠点整備 担当課 水道建設課	被災した市民	H6	給水拠点整備により確保した応急給水量(m ³) かつこ内は累計	0(11,770)	0(11,770)	0	0	A	継続	応急給水量の確保率100%を目指し、事業を推進する。
					0(11,770)	0(11,770)					
					0(5)	0(5)					
7	土地区画整理事業による配水管布設 担当課 水道建設課	土地区画整理区域内水道利用者	S63	土地区画整理事業による配水管布設延長(m)	14,182	14,097	266,340	256,823	A	継続	土地区画整理事業者の依頼に対し、適切に対応していく。
					9,497	8,988					
8	未給水地域への配水管布設 担当課 水道建設課	未給水者及び未給水地域	H6	配水管の布設延長	7,000	4,090	265,226	171,302	A	継続	配水管網を整備するだけでは、水道接続率の向上に繋がらないため、今後は給水要望のある地域に対して重点的に布設を行う。また、合併協定に基づき21年度までに整備計画を策定する。
					9,150	5,204					
9	出水不良等による配水管布設替 担当課 水道建設課	水道利用者		出水不良等による配水管布設替工事延長(m)	3,050	3,345	143,144	164,194	A	継続	工事の経費縮減を図りながら、出水不良の解消を求める要望に対応していく。
					3,404	2,632					

様式 2

10	配水管移設		水道利用者及び公共施設管理者		配水管移設工事延長 (m)	5,290	3,237	407,642	120,255	A	継続	事前情報の収集に努め、依頼者の要望に対し適切に対応していく。
	担当課	水道建設課				6,500	1,523					
11	湯西川ダムの建設負担金		水道利用者	S60	ダム建設負担金 (千円)	268,000	420,000	280,157	387,513	A	継続	今後の水需要に対応するため負担する必要がある。これからも国に対してコスト縮減を要望していく。
	担当課	水道建設課				280,157	387,513					
12	水源地域対策		水源地域	H6	水特法・基金事業の負担金 (千円)	197,033	221,354	121,350	157,579	A	継続	水源地域の活性化などのため、引き続き負担する必要がある。事業主体である栃木県と日光市にコスト縮減、事業内容の精査などを図り、利水者の負担額の抑制をするよう協議・要望をしていく。
	担当課	水道建設課				121,350	157,579					
13	配水管等図面の電子情報化		水道利用者	H14	図面管理 (配水管総延長) (km)	2,922	2,956	16,904	8,800	A	継続	現在、入力更新作業を中心とする入力方法の改善を実施しており、修繕履歴についても継続して入力を実施し、システムの利用を最大限活用していく。
	担当課	工事受付センター				2,922	2,956					
						217,789	219,600					
						208,800	212,412					
14	直結給水事業		直結給水可能な3階建て建築物の水道設置者	H9	広報紙等への掲載回数 (回)	1	1	0	0	A	継続	広報紙、宇都宮市ホームページなどのメディアを積極的に利用すると共に、案内パンフレットを配布し、直結給水の利用促進を図る。
	担当課	工事受付センター				0	1					
						90	70					
						49	43					
15	給水装置工事指導		市指定給水装置工事事業者	H9	指定工事店事務連絡会の開催回数 (回)	2	2	0	0	A	継続	新規指定給水装置工事事業者及び不受理件数 (手直し) が多い指定給水装置工事事業者に対しては特に指導を強化する。
	担当課	工事受付センター				1	1					
						7,147	6,450					
						6,589	6,796					
16	貯水槽水道への指導		貯水槽水道設置者	H15	戸別調査実施件数 (件)	100	500	0	0	A	継続	現状の貯水槽水道がどのように管理されているか戸別調査を実施するほか、貯水槽水道設置者に衛生管理方法などの指導及び助言を行う。
	担当課	工事受付センター				10	608					
						100	600					
						35	401					
17	水源地域の住民との相互交流事業		水源地域及び水道利用者	H2	水源交流事業実施回数 (回)	2	2	353	337	B	継続	引き続き実施していくが、地元栗山地区水源住民と下流利水者に、より理解される事業手法を検討していく。
	担当課	水道建設課				2	2					
施策事業費合計								3,014,661	2,906,416			